

東部 (西伊豆町)

居場所

### 駄菓子屋じいばあ

#### お年寄りも子どもたちも、ありのままに過ごす 老いを受け止める心を育む居場所

西伊豆町の民家で小規模デイサービスを運営している「みんなの家」が、平成27年春から通りに面した縁側スペースを使い開設した「駄菓子屋じいばあ」。毎週土・日の午後になると地域の子も達や親子連れがやってきます。「このあたりでは祖父母と同居していない世帯も多く、お年寄りと接することなく育つ子どもが増えていきました。ここでお年寄りのありのままの姿を垣間見てもらい、老いを嫌悪せず受け止める心の下地が自然と育まればいいなと思います」と代表の奥田さん。縁側前には小さなテントと椅子が置かれ、異年齢の子ども同士の交流の場にもなっています。お年寄りも障がいのある人も、多様な人たちがお互いに理解し合い、助け合い、共に生きる社会の実現を目指して生まれた「みんなの家」。「駄菓子屋じいばあ」が次世代への架け橋になっています。

#### ここに注目!!



「人生紙芝居」を通して戦争体験を子ども達に伝える活動など、地域の幼稚園や保育園、小学校に「みんなの家」の利用者が向かいでの交流も長年にわたって続いています。そんな中からお互いが顔見知りになっていきます。



小さなテントは子ども達のお気に入り。駄菓子を食べたり、おしゃべりしたり、「子どもの時間」が過ぎていきます。

#### DATA

☎(0558)52-4730  
賀茂郡西伊豆町中745-3  
FAX/0558-52-4730  
URL/http://rakutabist.com/  
E-mail/min7noie@poem.ocn.ne.jp  
開設時間/土・日 13:30~16:00  
アクセス/JR三島駅から東海バス松崎町行き  
浜橋バス停より徒歩15分  
駐車場/有  
運営主体/NPO法人みんなの家  
代表者/奥田俊夫  
※視察は事前の電話連絡必要



「駄菓子屋じいばあ」で買い物をする子どもたちの奥には、午後のひととき、ご利用者の人生を描いた手作りの「人生紙芝居」を楽しみ高齢者の姿があります。

東部 (函南町)

居場所

### たまりば さくら

#### 「何歳からでも、居場所はできる!」を实践。 自宅を開放し、地域で支えあい。

柏谷公園近くの住宅街にある「たまりば さくら」は小櫻壽枝さんが、月2回、自宅を開放している居場所です。函南町と町社協が行っている「地域の支えあい勉強会」を受講したことがきっかけ。神奈川県内の居場所を見学するなどして、人と人がふれあい、楽しく支えあう居場所の魅力にひきこまれました。一緒に受講した方たちの支援を受け、ご家族とも協議を重ね、受講から数か月後の平成29年4月下旬にスタート。広報はクチコミですが、毎回、十数名が参加しています。「回数を増やしたい気持ちもありますが、自分の体調も考えて無理をしません。でも、居場所をはじめたことで気持ちに張り合いが出て私自身が元気になりました」と小櫻さん。そんな小櫻さんの姿から、参加する人たちも元気や勇気もらっているという幸せの好循環ができています。

#### ここに注目!!



台所も開放して料理づくり。参加者それぞれが材料持参で作りたいものを作り、昼食時にみんなで食べる。「ワイワイおしゃべりしながら作ると楽しい」と小櫻さん。



寄贈されたブランドで籠づくり。プログラムは特別なく、料理、手芸などでそれぞれ好きに過ごす。手芸で材料費がかかる時は実費を集めている。

#### DATA

☎非公表  
函南町柏谷  
開設時間/月2回(第2・最終水曜日)  
10:00~15:00  
アクセス/伊豆箱根鉄道駿豆線大場駅から  
東海バス柏谷公園行、柏谷公園  
下車すぐ  
駐車場/無  
※視察は事前の電話連絡必要  
☎055-978-9288(函南社会福祉協議会)  
代表者/小櫻壽枝



代表の  
小櫻さん



スタッフも参加者も50代~80代。一緒に受講した人たちが会計や事務などをサポートしている。利用料 1回100円

東部 (三島市)

居場所

### コミュニティカフェ“悠遊”

#### 地域の絆を深める場所に町内会男性有志で 立ち上げた居場所のニューウェーブ

昭和40年代に宅地造成された三島市若松町地域。徐々に高齢化が進み、一人暮らしの増加、孤立化が気になっていた民生委員の勝俣信一さんは、町内会の男性有志に声をかけ、平成25年4月にコミュニティカフェ“悠遊”を立ち上げました。場所は町内の自治会館で週2回の開設です。スタッフは全員、定年退職後の男性。皆さん、現役時代は仕事一筋、ボランティアの経験はありません。「いつ、誰が行って、そこで何をしてもいい」がモットーで、運営スタイルも自然体。「悠」の字のごとく、ゆったりとした時と空間の移ろいを感じる雰囲気づくりを大切にしています。70代以上の利用が約7割を占めていますが、隣には公園があるため親子連れが立ち寄ることも。「三世代が集える地域の絆を深めることがこれからの目標」と勝俣さんは語ります。

#### ここに注目!!



現在、スタッフは男性6名。おそろいの赤いエプロンも板につきました。



“悠遊”ではコーヒー、紅茶やココア、緑茶が飲み放題。「最初の頃は器をカタカタさせて運んでいましたが、今はみんな上手ですよ」と勝俣さん。



悠遊で活動をしている三つの手芸グループの一つが、エコクラフトを材料にしたコースター作り挑戦しています。ほかに編み物に挑戦するグループ、着物や帯をリフォームして袋物作り挑戦するグループなど、お弁当持参で楽しい一日を過ごしています。

#### DATA

☎(055)973-2074  
(悠遊代表 服部光弥)  
三島市若松町4295-5  
若松町自治会館  
開設日時/毎週火曜・木曜 10:00~16:00  
会費/1日100円  
アクセス/JR三島駅より伊豆箱根鉄道バス 富士見台行き「百合ヶ丘入口」下車 徒歩8分  
駐車場/無  
運営主体/若松町自治会男性有志  
代表者/服部 光弥  
※視察は事前の電話連絡必要  
(視察連絡先)事務局 川口と志彦(090-9174-0747)



自治会館は週2回の活動時だけ居場所に模様替え。出し入れを楽にするため膝の椅子など備品は軽量のものを活用。マー جان牌や将棋盤や碁石は住民からの寄付。会費は1日100円で飲み物自由。カラオケ、カラオケ、マー جان、囲碁、音楽鑑賞、手芸など自由に楽しめます。

東部 (函南町)

居場所

### Mrs.モンドのおはり箱

#### 針仕事とおしゃべりが 人と人をつないでいく

針仕事をしながらおしゃべりを楽しむ居場所「Mrs.モンドのおはり箱」を立ち上げたのは海外での生活が長かった渡辺節子モンドさん。毎週火曜日、アトリエを地域の人に開放しています。モンドさんは平成29年夏に町内で行われた「地域の支えあいフォーラム」で、「たまりば さくら」の小櫻さんの実践報告を聞き感銘を受けました。年齢が近い小櫻さんの活動は刺激となり、「私も、自分ができることからやってみよう」と居場所開設を決意。英国などで手芸を教えていたキャリアはあるものの、「この年齢で教室を開くのは大変。もっと気軽に、針仕事をしながら皆さんが集える場にと決めました」とモンドさん。それからわずか3か月後。最初は自身が身近な人を誘い、次に一度参加した人が友人を誘いと、針仕事を媒介にして、人の輪が少しずつ広がってきました。放課後の部活動のような雰囲気でおしゃべりしたり、お茶を飲んだりしながら、少しずつ作品が仕上がっていく楽しさが魅力の居場所です。

#### ここに注目!!



利用料は1回200円。猫の貯金箱に入れます。材料費が別途かかる場合は実費を徴収しますが、普段はモンドさん提供の布などの素材を自由に選んで制作します。



互いに教えたり、教えられたり。刺繍、ビーズ、編み物など、それぞれが興味のあるものに取り組みます。



ハンカチで作るお人形。「10分程ですぐに出来そうですよ。作りたくなるでしょ」とモンドさん。

#### DATA

☎非公表  
函南町上沢  
開設時間/毎週火曜日  
10:00~15:00  
アクセス/伊豆箱根鉄道駿豆線大場駅から  
伊豆箱根鉄道バス乗車、  
ハサデタウン入口下車。  
駐車場/有(2台)  
※視察は事前の電話連絡必要  
☎055-978-9288(函南社会福祉協議会)  
代表者/渡辺節子モンド



代表の  
モンドさん



針仕事の手を休め、自家製ビーフジャーキーのお味見。お弁当持参で、のんびりと作品づくりとおしゃべりを楽しみます。